

### 令和8年度 新年度を迎えて

令和7年度も、数年にわたるウクライナとロシアの紛争が続く中、アメリカとイスラエルによる電撃的なイラン攻撃という衝撃的な出来事を目の当たりにしました。映画の中のようなことが実は現実には起こっていることに少なからず驚きました。また、世界規模で山火事が多い年でもありました。加えて日本では、太平洋岸を中心に渇水に見舞われ、多くのダム貯水率が30%を下回る状況が続いており、数十年前に水没していた湖底の街の様子が現代によみがえってきました。

最近では、衛星中継やインターネットの充実により世界中で起こったことが瞬時に私どもの目の前に届くようになり、地球規模の距離感が以前より感じにくくなっているような気がします。また、SNSや生成AIの普及により情報過多の中、まことしやかなフェイクニュースまであふれかえって、自分自身が何をよりどころにしているのか混乱するばかりです。今年には東日本大震災から15年、阪神・淡路大震災から31年となり、そのまぎれもない現実の悲惨さと破壊の凄さをあらためて当時の記録から思い起こされる年でもありました。

そんな中でこの一年、リハビリテーション支援センターの活動は地域の皆様と共にいろいろな課題に取り組んでまいりました。私どもの周りには、防災、介護、高齢化、人手不足などさまざまな課題が山積しており、どう共生社会をつくっていくか、どう取り組んでいくか皆様と一緒に悩んでまいりました。目の前にあるのは確かな現実であり、そこには障害のある人も支援する側の人も協力して取り組まなければ解決できないことばかりです。

多職種連携構築を目標とする事業、障害のある方と支援する側の間に入りより効果的なリハビリテーションを模索する総合相談事業、そしてより効果的なリハビリテーションを実践しているエキスパートから学ぶ研修などを実施してまいりました。地域リハビリテーションは、地域社会の中では単なる治療法ではなく、人々が将来に向かって希望を持って取り組んでゆく工夫の姿勢であり、日々の生活の中で生きている実感を持てるような取り組みと考えています。今年度も、県内の医療、介護、福祉そして地域社会での生活が豊かで円滑になるよう様々な支援を皆さまと共に展開してゆきたいと思っております。よろしくご支援をお願いすると共にお気軽にお声をおかけください。

2026年4月  
神奈川県リハビリテーション支援センター 所長 村井政夫

### 2025年度の専門相談 総数

	障害者更生相談所	居宅介護支援事業所	市町村	地域包括支援事業所	本人・家族	障害者相談支援事業所	障害者施設	医療機関	訪問看護事業所	保健福祉事務所	高齢者施設	訪問介護事業所	教育機関	その他	合計
県央		1	4	4	9	13(1)	23(9)		10(2)	11(6)	2(1)		1	2	80(19)
湘南東部				1	2	1	2	5	5(1)						16(1)
湘南西部		9(2)			1	6			4		1				21(2)
県西		2				2(1)		2	7(2)						13(3)
横須賀・三浦		1			5	6(2)								1	13(2)
横浜市				1	22	1		1						3	28
川崎市					5	1									6
相模原市					4									1	5
県外		1						2							3
合計		14(2)	4	6	48	30(4)	25(9)	10	26(5)	11(6)	3(1)		1	7	185(27)

	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷(除くCVA)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・加齢等)	不明	合計
県央	25(8)	2	4	4	2	13(2)	18(8)	5	5(1)	2	80(19)
湘南東部	5	4(1)					1	6			16(1)
湘南西部	11(2)	1	1			1	1	3		3	21(2)
県西		1	9(2)			2(1)			1		13(3)
横須賀・三浦	9(2)		3					1			13(2)
横浜市			1		3	1		22		1	28
川崎市			1					4	1		6
相模原市		1						4			5
県外		1	1	1							3
合計	50(12)	10(1)	20(2)	5	5	17(3)	20(8)	45	7(1)	6	185(27)

( )の数字は訪問数



お困りごとがありましたら、ぜひ専門相談をご利用ください。

# 2026年度 地域リハ支援センター 職員紹介

## 地域支援室



## 高次脳機能障害支援室



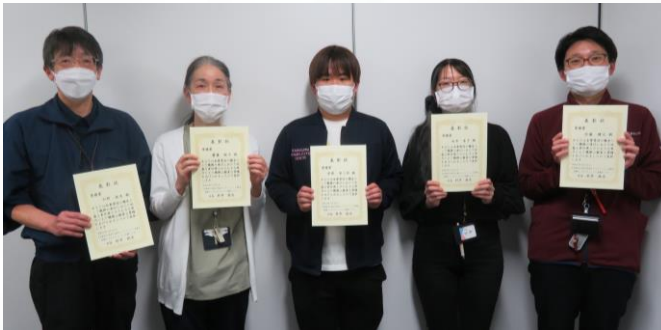
今年度から  
新しく仲間  
に変わりました

新しく地域支援室に配属になりました作業療法士の清水と申します。初めての業務が多いため不安もありますが、様々な場面で経験を積ませていただきながら、地域の皆様と協働できることを楽しみにしています。【地域支援室 OT 清水】

はじめまして。今年度から新しく高次脳機能障害支援室に配属になりましたSW小川です。様々な方とのやりとりを通じて経験を積んでいきたいと思っております。わからないことばかりで不安もありますが、よろしくお願いいたします。【高次脳機能障害支援室 SW 小川】

## 地域リハビリテーション支援センター 所長業績賞

今野 政美氏、齊藤 敏子氏、安部 勇三郎氏  
永井 喜子氏、佐藤 健太氏、吉澤 拓也氏



今年度から開催された高次脳機能障害支援者養成研修にて講師を務めていただいた皆様、また支援センターの業務改善に貢献した吉澤さんに業績賞を贈りました。  
ご協力いただき、本当にありがとうございました。(小泉)

## 地域リハビリテーション推進に向けた研修会を開催しました

地域リハビリテーションの推進には、地域の課題を発見し、対話の場をつくることが重要です。本研修では、各市町村の現状を知り、課題を見つけ、未来を描くことを目的に実施しました。

足柄上地区と大磯・二宮地区の2か所で、介護保険事業所や訪問看護、医療機関、行政機関の方々を対象に、計4日間の研修会を開催しました。延べ107名の方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

## in 足柄上地区

第1部は「地域課題の整理と今後の方向性の共有」をテーマに、関係者同士が意見交換を行い連携の促進を図りました。第2部は「安全で負担の少ない介助方法」をテーマに、身体の使い方や腰痛予防のポイントを学ぶとともに、立ち上がりや移乗動作の実技を実施しました。



第1部 1月27日(火)

## 足柄上地区の住民の暮らしを支えるために必要なこと

「迷ったらやってみる」「自分でできることを伝える」という考え方を身につけていけるようにしたいと思います。

同職種や他職種の方と意見交換ができ、地域の強みと課題をそれぞれ確認することができました。

第2部 2月16日(月) ヘルパー等の介助研修

日々の現場で悩みがあっても改善・解決に至らないことも多々ありました。今回、参加して良かったです。

実技を介して、実感として理解できた。わかりやすく、現場につなげられると思いました。



## in 大磯・二宮地区

認知機能低下への対応をテーマに、1部では病院や在宅での具体的な取り組みを交えた支援に加え、関連する制度や相談窓口についても理解を深めました。また、2部では認知症や高次脳機能障害のある方への行動・心理面への配慮を含めた講演と意見交換を行いました。

第1部  
2月17日(火)

## 認知機能低下への地域での対応

対象者のストレンクスを見つける関わり方など、とても参考になりました。

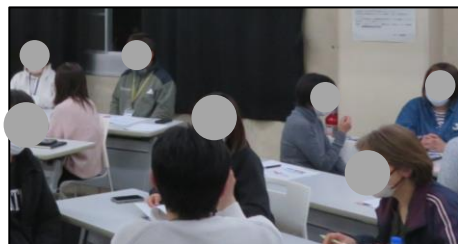
生活を支え、負担を軽減するための制度や相談窓口について具体的に知ることができました。

第2部  
2月27日(金)

## 認知機能低下への現場での関わり方

意見交換を通して、職種による関りの違いや在宅での家族の役割がよくわかりました。

日頃からの観察を大切にし、その人に合ったケアを心がけたいと感じました。



# リハビリテーション専門研修

## 1.24(土) 高次脳機能障がいセミナー 就労支援編

高次脳機能障がいのある方は、自己評価と他者評価のずれから就労の継続が難しくなることがあります。就労支援の視点として「本人支援」「家族支援」「連携支援」の3つを軸に、自己理解を深める関わり方や、環境調整のポイントについて学びました。

### 参加者の声

異なる分野・職種の方との事例検討により多様な視点をしることができました。また、関係者同士で顔の見える関係づくりができる機会となりました。



講師:

障がい者就業・生活支援センター サンシティ  
精神保健福祉士 三浦 明子 氏  
神奈川リハビリテーション病院  
職能科 OT 露木 SW 佐藤

## 2.14(土) 褥瘡予防セミナー

褥瘡の好発部位や発生要因などの基礎知識から、ケアの方法やポジショニングの考え方を学びました。また、各専門職による座学と実技を通して理解を深め、医療や介護現場でのよりよいケアにつながる内容となりました。

### 参加者の声

患者さん側の体験が行え、負担や不快、痛みなどの気持ちを考えることができ、今後のケアに活かせると思いました。



講師:

神奈川リハビリテーション病院 Ns 長堀 PT 平松 OT 井上

昨年度も研修会を無事に開催でき、多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。  
本年度もよろしくお願いいたします。

## 2026年度 4~7月の専門研修予定

地域リハ支援センターでは、医療・福祉・介護に携わる方々を対象に、さまざまなテーマで研修会を開催しています。また、座学に加え、体験・実技練習・グループワークを取り入れることで、より理解を深められるよう工夫しています。

1	セラピストのためのハンドリング入門	5月 17日(日)	神奈川リハビリテーション病院
2	ノーリフティングケア入門	6月 11日(木)	ウイング横浜
3	ポジショニング入門	6月 12日(金)	ウイング横浜
4	知的障がいのある方への支援	7月 4日(土)	神奈川リハビリテーション病院
5	車いすシーティング	7月 18日(土)	神奈川リハビリテーション病院
6	高次脳機能障がいセミナー 小児編	7月 25日(土)	神奈川工科大学 ITエクステンションセンター

研修申込



## 高次脳機能障害支援室

### 令和8年度の高次脳機能障害の支援について

昨年度は、至らないことが多々あったと思いますが、関係者の皆さまのご理解・ご協力のもと、事業を行うことができました。本当にありがとうございました。

さて、令和8年度は、昨年末に成立した高次脳機能障害者支援法が施行されています。前回の支援センターだよりでも記載をしましたが、「高次脳機能障害支援センター」の設置が掲げられており、全国的にも動きがある年になります。神奈川県内の動向が明確になっていないことがありますが、これまでの「高次脳機能障害支援普及事業」から発展した形で、「高次脳機能障害支援事業」に移行することが大切です。住み慣れた地域で支援を受けられる支援体制の構築が必要なことは変わらないと考えております。

今後とも、様々な関係者の方々のご意見を伺いながら、一緒になってより良い支援体制の構築に向けて努力していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

高次脳機能障害支援室 佐藤

編集後記

このたびの4月の異動により当センターを離れることとなりました。在任中のご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも当センターをよろしくお願いいたします。(吉澤)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516  
神奈川県リハビリテーション支援センター  
(地域リハビリテーション支援センター)  
☎ 046-249-2602 FAX 046-249-2601